

平成20年度第1回 横浜植物防疫所入札等監視委員会（議事概要）

開催日及び場所	平成20年5月27日（火） 横浜植物防疫所会議室
委員（敬略称）	委員長 鈴木 満 桐蔭横浜大学法科大学院教授
	委員 吉武 雅子 神奈川大学講師
	委員 青柳 義朗 藤沢市監査委員
審議対象期間	平成20年1月1日から平成20年3月31日
抽出案件	14件（競争入札7件、随意契約7件）
委員からの意見・質問、 それに対する回答	下記のとおり
委員会による意見の具 申又は勧告の内容	なし

意見・質問	回 答
【案件1】 門司植物防疫所名瀬支所実験室改修工事〔競争入札〕	
予定価格はどのように積算しているのか。	設計を外注しており、建設も併せて積算の依頼もしており、それを基に精査した上で算出している。
工事費内訳書等を入札参加者から取っていないのか。また、工事費内訳書を取るの基準を設けているのか。	取ってはいない。
【案件2】 横浜植物防疫所調査研究部高精度検定温室遮光幕設置工事〔競争入札〕	
入札金額が2千万も違うのは、どういう仕様になっているのか。2者の差があまりにも開いている。	工事自体があまり事例が無い中で、入札に参加したのが建設関係の業者とテント関係の業者の2者であり、業種の違いから結果的にこういう金額になったということである。
ガラスに何か直接貼るとかのもっと簡単な検討は行わなかったのか。	直接貼ると温室の植物の生育に影響が出るため難しい。また、日中ずっと遮光するという訳ではないため、ガラスに貼ることはできない。
予定価格の積算は誰が行っているのか。	当所職員が公表されている積算資料に基づき行っている。
【案件3】 破碎装置売買契約〔競争入札〕	
（質問・意見なし）	
【案件4】 サンプル破碎装置外売買契約〔競争入札〕	
（質問・意見なし）	
【案件5】 恒温恒湿器外2点〔競争入札〕	
（質問・意見なし）	
【案件6】 顕微鏡用照明装置外売買契約〔競争入札〕	
（質問・意見なし）	
【案件7】 昆虫標本保管庫売買契約〔競争入札〕	

予定価格はどのように設定しているのか。	定価に対しての割引率を前年度の実績で算出している。
公告はどの範囲でやっているのか。	合同庁舎掲示板や総務省のホームページに載せている。また、金額にもよるが官報公告も行っているところである。
インターネットは利用していないのか。	総務省のホームページを利用しており、全省庁の情報が閲覧可能である。今後は植物防疫所のホームページでも全部の入札公告が見られるようにする予定である。
入札には登録制なのか。	全省庁の統一資格を適用している。
入札参加者を増やさないと競争は生まれませんが、それを増やす努力を具体的にしているのか。	県に主に取引をされて登録している業者に声をかけているところである。
メーカーはどこかに決まっているのではないのか。昆虫標本はこれというように植物防疫所でメーカーは決めているのか。	予定価格の積算をする上のベースとして、参考としての規格を定めているだけで、このメーカーでというような指定は行っていない。
仕様書に1つだけ書くと、もうそれを指定しているようなミスリードをすることになるのではないのか。	今年度からは1社ではなく複数社の参考機種を載せるようにしたところである。
1社だけだと独占のような形になってくるのではないのか。	基本的に仕様書に載っている規格等は積算する上での類似品が幾つかある中での一つを基準として選んだところである。
2社とか3社と参加業者の数が少ない。競争を促すためには、インターネット等で新規の業者を募集し、入札参加者を増やすようにしたらどうか。	ホームページの入札関連部分を見直すなど、登録業者数を増やすということを今後検討することとしたい。
【案件8】 横浜植物防疫所大黒埠頭検査場くん蒸庫電気配管等工事〔随意契約〕	
(質問・意見なし)	
【案件9】 メドフライコール外契約〔随意契約〕	
(質問・意見なし)	
【案件10】 横浜植物防疫所パンフレット印刷請負契約〔随意契約〕	
総合得点にそれほど開きがなくほとんど変わらない。事前に企画競争をして点数を付けて業者を選択するようなものではなく、一般競争で金額がある程度見積もった上で業者を指名しても出来上がりにそれほど差がないと思われるがどうか。	内容を一新するため専門家としての観点から提案を受けるということで企画競争を実施したところである。
【案件11】 横浜植物防疫所行政情報システム追加請負契約〔随意契約〕	
随契理由書の理由が判りにくい。	今後は簡潔なものとするようにしたい。
【案件12】 誘引剤請負契約〔随意契約〕	
(質問・意見なし)	
【案件13】 誘引剤請負契約〔随意契約〕	
(質問・意見なし)	

【案件14】GPS及びGISを利用した病虫害防除対策ソフトウェアに係る地図画像作成請負契約 〔随意契約〕	
随意契約なら落札率は100%に近いはずが、この案件は80%台なのか。N社が持っているデータが既に使えるため、継続であり安くなったということか。	N社から提出された仮の作業工程表により、人日を算出したところであるが、元々N社が持っているプログラムで改修を行うことになるため、実際の作業工程に基づく作業日数の差が生じたものである。
【案件15】動物検疫及び植物防疫の業務・システム最適化に係るハードウェアとソフトウェアの調達に係る売買契約〔競争入札〕	
価格の他に何を総合評価したのですか。	技術項目を点数にした。
1社はずいぶんと点数が低く、辞退に近いのか。	予定価格を超えたため、その時点で失格ということである。
総合評価は技術点の採点のことだけか。技術点の合計点は何点か。	価格点は単純に計算するだけである。価格点と技術点は1対1とするようになっている。価格点と技術点で、満点はそれぞれ640点となる。
入札価格が安いのに価格点が低いというのは、どういうことか。	1から予定価格に対する入札された金額の割合を差し引きすることにより点数が決まる加算方式により算出したところである。

平成20年度第2回 横浜植物防疫所入札等監視委員会（議事概要）

開催日及び場所	平成20年9月5日（金） 横浜植物防疫所会議室
委員（敬略称）	委員長 鈴木 満 桐蔭横浜大学法科大学院教授
	委員 吉武 雅子 神奈川大学講師
	委員 青柳 義朗 藤沢市代表監査委員
審議対象期間	平成20年4月1日から平成20年6月30日
抽出案件	9件（競争入札3件、随意契約6件）
委員からの意見・質問、 それに対する回答	下記のとおり
委員会による意見の具 申又は勧告の内容	なし

意見・質問	回 答
【案件1】 農林水産省植物防疫所職員用官服製造業務単価契約〔競争入札〕	
契約のやり方はどのようにしているのか。	植物防疫官が空港等で検疫業務のために着る制服を、全植物防疫所を一括して取り纏めて、品目毎にいくらというような単価契約方式である。
単価契約の発注時期はいつ頃か。	異動等が有るため、落札者が決まってから時期を決めている。
何年毎に規格を見直し、変更をするのか。	官服の寸法等は規則で決まっているため変更はできないが、仕様書については5年から7年くらいで見直し行っている。
5年から7年に1度、こういった入札が出るのか。 それとも毎年入札をやるものなのか。	毎年やっている。
毎年継続して同様の契約をする場合、今後は前年の契約内容の資料の準備をお願いする。	今後は、準備をすることとしたい。
予定価格はどのように算定しているのか。	役務に関しては積み上げ式で積算資料の数値を引用している。
どの程度、一般の被服と違うのか。ズボンとか枚数はどれくらいなのか。	購入予定数量については、一覧を添付してありとおりである。
発注する数量が少ない品目があるが。	毎年新しいものを貸与をしている訳ではなく、新規採用者分及び更新時期が到来したもののみ購入した。女性は人数が少ないため、購入数量も少ない。
一般の汎用品と比べてどの程度、仕様が違うものなのか。	官服は、形状等を農林水産大臣が定めており、それに合わせて作るため、既製品では難しい。
去年落札した業者が今年の落札業者となっているのではないか。	同一業者である。

発注の時期・仕方については、国庫債務負担行為を利用し、デザインを変えるまでのその間を一つの契約とみるのが予算の節約にも役立つことから、4年なり5年なりの契約単位にするのが合理的だと思われるがどうか。	ご指摘を踏まえ、最初のデザインのところから複数年の製造まで含めた国庫債務負担行為の予算の確保ということをご本省に要望することとしたい。
【案件2】産業廃棄物処理請負契約〔競争入札〕	
予定価格を立てるための参考資料として、M社の単価一覧のどこを参考にしたのか。	一般廃棄物・重量単価に昨年実績を乗じて算出し、収集単価、搬出作業、廃棄証明単価を参考にしたところである。
競争が成り立つように近辺の同じような官署とまとめるようにしたらどうか。	税関なり入管なりとCIQで連名で契約する等を検討して参りたい。
【案件3】リムジンバス車内広報誌への植物検疫広報掲載料〔随意契約〕	
(質問・意見なし)	
【案件4】防虫ネット外購入代〔随意契約〕	
(質問・意見なし)	
【案件5】輸入植物検査手続電算処理システム保守管理契約〔随意契約〕	
システム保守管理契約の審議番号5番と8番では、落札率が98.15%と70.11%と違うがどうか。	5番の方は前年度とシステム上変わった部分が無かったため、前年度と同程度という金額になったところである。8番の植物防疫所行政情報システムについては、一部システムの改変を行う必要があり、予定価格のその部分の金額が積み上げにより増えたが、入札金額が安かったことによるものである。
【案件6】成田空港植物検疫広告掲載料〔随意契約〕	
チケットフォルダというのはどのように使用するものか。	紙製で搭乗券等を入れるため、折って使用するものである。旅行者が持ち歩くため、紙自体に印刷を行った。
予定価格はR社の見積書を参考にしたのか。それともR社の定価なのか。	R社のネット上で、この業務に関してはいくらかで提供していると掲載されている。
上海に行く際に成田に行く電車を利用したが、植物検疫所のチケットフォルダは無かったようだがどうか。	東南アジア向けのみで作成したところであり、夏場に海外旅行に行かれる方を対象に植物検疫の強化週間という形で、広報の一環として配布を行ったところである。
【案件7】PQウィルスソフトバージョンアップ〔随意契約〕	
(質問・意見なし)	
【案件8】植物防疫所行政情報システム保守管理契約〔随意契約〕	
予定価格は何を基に算定したのでしょうか。	改変を行った保守の部分については、積算資料を参照し積算を行った。
この入札は毎年行うのか。	今年度の10月から国庫債務負担行為でやることとなり、4年半の保守契約として入札を行ったと

	ころである。
これは本当にI社にしかできないのか。	他の業者にも聞き取りをしたが、植物防疫所独自のシステムであり、普通のシステムと違い専門性が高く難しいとのことだった。
4年半だと相当規模が大きくなるため、前提となるデータを開示しないとできないが、情報開示は行ったのか。	説明会時等に仕様書を配布し、実際にシステムを触ることも可能との説明を行った。
4年半の入札はどのように行ったのか。	一般競争入札にして、総合評価を行った。
I社以外の業者は来たのか。	来ていない。
他のところはどのような条件だったら取れるかということのを元の設置したところは開示すればいいのではないか。	データ類全てを当所で持っているため、業者から依頼があれば全て見せるという形である。
専門家でないと判らない部分があるので、どういう条件だったら競争が成立つか、コンサルタントと相談したらどうか。	来年度に予算を確保し、当所のワーキンググループで機能整理を行い、設備的な部分を切り分けるなど、情報を整理してやることとなる。

平成20年度第3回 横浜植物防疫所入札等監視委員会（議事概要）

開催日及び場所	平成20年11月14日（金） 横浜植物防疫所会議室
委員（敬略称）	委員長 鈴木 満 桐蔭横浜大学法科大学院教授
	委員 吉武 雅子 神奈川大学講師
	委員 青柳 義朗 藤沢市代表監査委員
審議対象期間	平成20年7月1日から平成20年9月30日
抽出案件	8件（競争入札5件、随意契約3件）
委員からの意見・質問、 それに対する回答	下記のとおり
委員会による意見の具 申又は勧告の内容	なし

意見・質問	回 答
【案件1】 植物防疫所行政情報システム保守運用契約〔競争入札〕	
システムを構成する機器自体はどこのメーカー製なのか。	機器の多くはヒューレッドパッカード製で、一部は日立製である。
構成する機器はパソコンなのか。	そのとおりである。
競争入札が、成り立つという根拠は何か。	従来から保守管理をやっているため、ノウハウ、実績があるのはインテックであるが、説明会と意見招請をした際にも数社来ているため、同等以上の保守管理を行う会社が存在する可能性があるかと判断したところである。
説明会には何社か来たというだけで、質問などは出なかったのではないのか。	そのとおりである。
システムの保守ではない、元々のシステム構築に係る費用はどのくらいか。	手元に資料を用意していないため、後ほどお知らせする。
何の項目を総合評価したのか。	総合評価の技術評価委員会における技術審査評価の評価ポイントに項目毎の点数加算の目安となるものが挙げられている。
価格と非価格はどういう比率になっているのか。	価格と技術評価の比率は1対1である。
比率が1対1になるのはどうしてなのか。	総合評価の落札方法で決められているものが有り、1対1になっているためである。
今まで保守管理をしてきたところに頼むのが発注者としては一番楽ではないのか。インテック以外の社が落札したら現実問題としてどういうことが起こるのか想定されたのか。	競争入札を行っているため想定している。
現実的には競争が有り得たのか。この段階で競争が成り立つという判断をしたのか。	公募をかけたところ、数社が説明会に参加したためである。

それで競争が成り立ったと判断をしたのか。	そのとおりである。
競争が成り立つようであれば競争入札にすべきであるが、競争が成り立たないときに競争入札を行うのは誤りである。このケースであれば随意契約でもやむを得ないが、当初の調達の際に切り離さずに、保守を含めた形で競争入札をする方が合理的である。	開発契約を行ったところが最低限の部分の保守を行えるような形の契約方式を今後検討する。
最初の構築の時から保守契約を合わせて行うことが、できるだけ保守にお金がかからないような仕組みを作る努力もするため、合理的であると考えられる。	次期システムの開発の際には昔から存在しているテクニクしか作業できない部分と当所で今後も開発していかなければいけない部分等の切り分けを行い、新規開発する部分は、保守の中に入れて、完全に切り離しができる単独機能は誰でも入札できる形にするなど検討する。
【案件2】ろ紙外売買契約〔競争入札〕	
ろ紙はどのように使用するのか。	実験用に使っている。
参考見積りを取った2社は、どの会社なのか。	I社とT社である。
従来から購入しているところは、どの会社か。	この4社は恒常的に取引している会社である。
次の案件3も同じような会社が入札しており、何かローテーションになっているのか。	この時点では従来から取引をしている4社であるが、ホームページの入札公告を見て入札参加者も増えてきている。
メーカー等の指定を行っているのか。	個別に仕様書を書くとは対応が大変ということもあり、試薬に関しては実験でこの薬を使いたいという要望が有るため銘柄指定を行っている。
【案件3】エタノール外売買契約〔競争入札〕	
2回目の入札でF社が辞退をしているが、辞退の理由書等は取っているのか。	入札書を忘れたということで、事務上の不手際が生じたものである。
案件2と案件3は次回から入札に新規に参入する会社が有るということか。	そのとおりである。9月から入札公告を見て新しく来た会社が有り、その会社が落札した入札もある。
【案件4】フラットファイル外売買契約〔競争入札〕	
全て文房具の購入になるのか。	そのとおりである。効率化と経済性の観点から、品目、種類の取りまとめを行い購入したところである。
参考見積りはどの業者から取ったのか。	参考見積りはM社とT社から取ったところである。落札したN社からは取っていない。
実際にコンスタントに納品、配達を行うとこの価格になるのか。	当所が管轄している支所への送付作業代も含まれている。
【案件5】耐震マットほか77点購入契約〔競争入札〕	
耐震マットはどのようなものか。	パソコン等の下に貼付し、機器を動かなくするジェル状のものである。

【案件6】メドフライコール外売買契約〔随意契約〕	
ミバエ類の侵入警戒調査用の農薬とはどのようなものか。	この害虫が反応する物質が決まっており、その反応物質が含まれた農薬である。特殊なものであるため、一般の農薬で使うのが適しておらず、市販されていないものである。
【案件7】成田空港植物検疫情報提供システムとのデータ連携設定作業請負及び輸入植物検査手続電算処理システムデータ抽出作業請負契約〔随意契約〕	
データを移し替える作業というのは、動物検疫所と同様の請負作業になるのか。	同じものである。
【案件8】輸入植物検査手続電算処理システム機器撤去請負契約〔随意契約〕	
(質問・意見なし)	
【その他】植物防疫所大和園場C温室冷暖房エアコン設置工事〔競争入札〕	
落札率が39.30%と低くなっているのはどのようなことか。	冷暖房の空調設置工事の予定価格については、過去の実績からの値引き割合とインターネット等で実際の納入価格を調査し立てたところであるが、値引きに相当な幅があったため推測できなかったところである。
【その他】検疫規則外翻訳業務請負契約〔競争入札〕	
落札率が37.62%と低くなっているのはどのようなことか。	翻訳業務は経験を積むほど早くできることや、抱えている翻訳者の数や会社の規模、ノウハウによって入札金額が変わってくることから、予定価格をはるかに超える会社が多かったことによるものと思われる。
何語に翻訳しているのか。	当所では中南米の国の検疫規則の翻訳を依頼しているため、ポルトガル語とスペイン語のいずれかである。

平成20年度第4回 横浜植物防疫所入札等監視委員会（議事概要）

開催日及び場所	平成21年2月13日（金） 横浜植物防疫所会議室
委員（敬略称）	委員長 鈴木 満 桐蔭横浜大学法科大学院教授
	委員 吉武 雅子 神奈川大学講師
	委員 青柳 義朗 藤沢市監査委員
審議対象期間	平成20年10月1日から平成20年12月31日
審議対象案件	20件（競争入札19件、随意契約1件）
抽出案件	8件（競争入札7件、随意契約1件）
委員からの意見・質問、 それに対する回答	下記のとおり
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし

意見・質問	回 答
【案件1】 実体顕微鏡外売買契約〔競争入札〕	
参考見積りを取った2社とはどの会社なのか。	E社とI社である。
顕微鏡は、オリンパス製だけなのか。	ニコン、ライカ製もある。
E社、I社はどちらかのメーカーの系列に属しているのではないかと。どこのメーカーの機械でも取扱うのか。	E社はオリンパスの代理店だが、他社は特段、代理店になっていない。
一定金額以上の見積りは総価ではなく内訳書を取るようにはしてはどうか。	今後、検討することとしたい。
顕微鏡の耐用年数は何年か。	8年である。
競争が成り立っていないような気がする。顕微鏡はあまり競争がなく、独占状態になってしまっているのではないかと。	メーカー間競争は存在している。レンズを販売する時期によって多少のずれが生じており、メーカーの力を入れている方法が違うと思われる。
【案件2】 飼料粉碎機外売買契約〔競争入札〕	
参考見積りを取った2社はどこの会社なのか。	I社とY社である。
遺伝子解析装置とそれ以外とに分けて入札するという検討はしなかったのか。	納入費等がかさむことにもなるため遺伝子解析関係の機械を更新する年度計画に基づき一括調達を行った。
遺伝子解析装置のメーカーは複数あるのか。	何社かある。
どうして1者応札になったのか。	当所の取引範囲が狭かったため、新規参入の業者を増やしてこなかったことが考えられる。
【案件3】 インキュベーター外売買契約〔競争入札〕	
インキュベーターはどのようなものなのか。	ある一定の温度を保つ恒温装置のことである。
温度勾配はどのような機能なのか。	温度勾配とは、装置の中が幾つかの棚に分かれており、その棚ごとに独立して温度調整ができるものである。この装置は植物とか虫の栽培

	に使われる温度調整付きのものである。
【案件4】貨客兼用車売買契約〔競争入札〕	
この契約は、随意契約の方がよかったのではないか。	複数者が入札に参加することを想定してたので随意契約は想定していなかったものである。 今後、購入する際は状況を見つつ入札・契約方法を検討して参りたい。
【案件5】サーマルサイクラー2式売買契約〔競争入札〕	
成田空港と関西空港を分けて入札するというのは考えられなかったのか。	全国規模でもある大きな会社であるため、地域で分けなくても大丈夫だと思われる。
分けて入札するよりも1本にまとめた方が安くなるということか。	そのとおりである。
【案件6】高圧蒸気滅菌器売買契約〔競争入札〕	
入札参加業者が変わっていない。同種の機器を購入している研究機関等と情報交換すること、内訳書を取るようにはしてみたらどうか。	今後、検討することとしたい。
【案件7】生物顕微鏡ほか125点購入〔競争入札〕	
同じようなものを横浜でも購入しているが、横浜で購入しているものと神戸で購入しているものと単価的には比べて差があるのか。	参考見積りを見る限りでは、それほど大きく差はないと思われる。
顕微鏡は現状で、国内は2社になってしまっているのか。	ライカ、カールツァイス、ニコン、オリンパスの4社くらいを調達しており、そのうち国内メーカーは2社である。
【案件8】植物検疫くん蒸試料調整業務請負契約〔随意契約〕	
落札した団体には農林水産省出身のOBが何人いるのか。	再就職役員は3名である。